

11日(土)
夜の部

一、長唄
「淀川抄」



尾上京
おのえ まよこ

2歳より尾上菊之丞(現・墨雪)に師事。協会主催公演、国立劇場主催公演、海外公演にも幅広く参加。自身のリサイタルを催すなど、古典だけでなく創作舞踊にも意欲的に活動。新春舞踊大会会長賞、大会賞を受賞。



花柳双子
はなやぎ そうじ

母・二代目花柳双に師事。平成10年、母の名を継ぎ、二代目花柳双子を襲名。大阪芸術大学音楽学科卒業。協会主催公演、国立文楽劇場公演、歌舞伎公演などに出演。自身のリサイタルを催す他、京都・上七軒の舞踊の指導にもあたっている。



藤間豊宏
ふじま とよひろ

父・藤間宏輔に師事。協会主催公演、国立劇場主催公演等に多数出演。大阪府立東住吉高等学校芸術文化科、宝塚歌劇団、宝塚音楽学校、OSK日本歌劇団の講師を務める。またNHK朝の連続ドラマでは所作指導を長年務めている。大阪市より「さくやこの花賞」を受賞。



山村侃
やまむら かん

山村流宗家の次男。父の六世宗家山村若葉名披露舞踊会にて初舞台。山村流宗家一門の会『舞扇会』に毎年出演する他、後見等を務め修行を続けている。令和4年、宝塚歌劇『心中・恋の大和路』にて振付デビュー。大阪文化祭賞奨励賞・文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。



若柳延祐
わかやぎ えんりゅう

四世家元若柳壽延に師事。父は若柳幸志郎。協会公演、未来座公演、国立文楽劇場主催公演等に多数出演。文化庁学校巡回公演にも参加。新春会長賞、大会賞を受賞。



西川大樹
にしかわ だいき

正派西川流。西川喜久輔に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。「弧の会」同人としても各地で公演活動やワークショップを行うなど日本舞踊の普及に励む。新春文部科学大臣奨励賞、「弧の会」として文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。



坂東朋奈
ばんどう ともな

幼少より祖母・坂東三津扇、母・坂東勝友に師事。坂東流師範。協会、国立劇場主催公演、協会東京支部城東ブロック公演等に出演。東京支部城東ブロック副ブロック長、NPO法人「集団日本舞踊21」正会員。



猿若清三郎
さるわか せいざぶろう

猿若流九世家元。流祖猿若清方、二代目清方に師事。平成24年家元継承。TV映画、演劇の所作指導や振付を手掛ける他、向嶋墨堤組合専属講師、女子美術大学芸術学部非常勤講師。「弧の会」同人。東京支部中央ブロック副ブロック長。芸術選奨文部科学大臣新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、花柳壽應賞新人賞などを受賞。

二、常磐津「水売り」



西川扇左衛門
にしかわ せんざえもん

十世宗家西川扇藏に師事。協会公演、協会主催新作公演(公財)、日本舞踊振興財団主催の海外公演、文化庁学校巡回公演などに出演。「ギンズ伝統芸能体験」講師を務めた。新春会長賞、大会賞、東京新聞日本舞踊新鋭賞などを受賞。



花ノ本寿
はなのもと こしげき

花ノ本流十六代宗家。父・花ノ本爽に師事。平成30年、二代目花ノ本寿を襲名。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。アーティストのMVや企業のムービー等の振付も手掛ける。「伝統文化理解教育」講師。日本工学院八王子専門学校非常勤講師。新春会長賞、舞踊批評家協会賞新人賞などを受賞。



花柳九州光
はなやぎ くすみつ

花柳九州男に師事。名取となる。熊本より上京後、三世花柳壽輔、二代目花柳壽應に師事。協会、国立劇場主催公演、坂東玉三郎特別舞踊公演などに出演。新春会長賞、大会賞、奨励賞受賞。

出演者プロフィール

※文中の「協会公演」は「日本舞踊協会公演」を、「新春」は文化庁当協会主催のコンクール公演、「各流派合同新春舞踊大会」を略した表記です。



はなやぎ すけぞう
花柳 輔 蔵

二代目花柳壽應に師事。協会主催公演や国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演、坂東玉三郎特別舞踊公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。新春会長賞、大会賞などを受賞。



はなやぎ すみぞう
花柳 寿美藏

二代目花柳壽應に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演、中央区古典芸能の会、品川区舞踊連盟公演などに出演。シンガポールの国立芸術大学等でワークショップを行うなど、日本の古典芸能の普及に努めている。「弧の会」同人。新春最優秀賞、大会賞などを受賞。



はなやぎ まさかつ
花柳 昌 克

母・花柳千代助、花柳基に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演、坂東玉三郎特別舞踊公演など国内外の様々な公演に出演。新春会長賞、大会賞などを受賞。



はなやぎ まさひろお
花柳 昌 鳳生

二代目花柳昌太郎に師事。現在は三代目昌太郎に師事。「名古屋華生会」を主宰。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演、坂東玉三郎特別舞踊公演などに出演するほか、「能う云」「銀玲会」にて研鑽を積む。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。新春大会賞、奨励賞を受賞。



はなやぎ とよひこ
藤 間 豊 彦

藤間豊之助に師事。母校である東京藝術大学の大学研究員助手を務める。協会主催日本舞踊協会公演、新作公演や文化庁学校巡回公演、東京文化会館主催「日本舞踊×オーケストラ」公演などに出演。「藝〇座」所属。新春奨励賞受賞。



はなやぎ なおさ
藤 間 直 三

幼少より藤間秀三に師事し、藤間秀之助に師事。東京藝術大学音楽部邦楽科日本舞踊専攻卒業。協会主催公演や文化庁学校巡回公演などに出演。「藝〇座」所属。東京新聞主催全国舞踊コンクール文部大臣奨励賞、みやこ賞、新春会長賞などを受賞。



わかみしょう ゆずけ
若見匠 祐 助

猿若流分家・猿若吉代に師事。「若見匠會」「舞祐伝」を主宰。日本大学芸術学部大学院卒業。協会主催公演や文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春最優秀賞、東京新聞主催全国舞踊コンクール文部大臣奨励賞などを受賞。



わかやぎ きらおう
若 柳 吉 應

正派若柳流。母・二代目若柳吉以に師事。協会主催日本舞踊協会公演や正派若柳流定期公演に出演するほか、若柳流日舞普及会などでワークショップや普及活動に取り組み、「伝統文化体験教室」講師。新春奨励賞受賞。



わかやぎ きちゆうすけ
若 柳 吉 優亮

父・若柳宗樹に師事。協会、国立劇場主催公演、東京文化会館主催「日本舞踊×オーケストラ」、文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。新春奨励賞受賞。

四、長唄 「鶯宿梅」



あつま とくは
吾 妻 徳 穂

吾妻流三世宗家。祖母吾妻徳穂に師事。二十歳で家元継承、自身の会を主宰するほか、文化庁、協会、国立劇場、NHK主催公演、海外公演などに多数出演。協会常任理事。紫綬褒章受章。主な受賞に日本芸術院賞、芸術選奨文部科学大臣賞及び新人賞、芸術祭大賞、花柳壽應賞新人賞など。



はなやぎ じちらく
花柳 寿 楽

平成21年に祖父の名跡を継ぎ、三代目花柳寿楽を襲名。自身のリサイタルや東西五人の舞踊家による「五羅會」、協会、国立劇場主催公演で多数出演するほか、歌舞伎公演や宝塚歌劇団などで振付にも携わる。東京支部中央ブロック長。主な受賞に日本芸術院賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、花柳壽應賞新人賞など。



はなやぎ もと
花柳 基

協会、国立劇場主催公演などに多数出演、リサイタル「基の会」を主宰。ジャポニスム2018日本舞踊フランス公演に出演。日本大学芸術学部、日本体育大学武道学科、埼玉県立芸術総合高等学校非常勤講師。「弧の会」「五羅會」同人。協会理事。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣賞及び同新人賞、新春文部大臣奨励賞、花柳壽應賞新人賞、弧の会として文化庁芸術祭優秀賞など。

出演者プロフィール

五、常磐津「乗合船恵方萬歳」



若柳 壽延
わかやぎ じゅえん

父・若柳流三世宗家二代若柳寿童に師事。12歳で四世家元を継承。自身のリサイタルや流儀主催公演を開催するほか、協会、国立劇場主催公演等に出演。振付作品多数。近年は各地で講演も行。協会理事。協会関西支部長。文化庁芸術祭賞、花柳壽應賞新人賞受賞。



松本 幸四郎
まつもと こうしろう

松本流三代目家元。歌舞伎俳優十代目松本幸四郎。日本舞踊研修会「松鷗会」主宰。歌舞伎では「勸進帳」「鏡獅子」「紅葉狩」などの古典に取り組み一方、歌舞伎NEXT「阿弓流為」などの新作歌舞伎にも出演。協会常任理事。主な受賞に文化庁芸術選奨新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、国立劇場優秀賞など。



藤間 恵都子
ふじま えつこ

自身のリサイタル「恵翔会」を主宰。協会、国立劇場主催公演、NHKに多数出演。海外公演も多く、ソウル芸術総合学校招聘講師も務めた。日本大学芸術学部講師として若手育成にも力を注ぎ、子供向けワークショップや、動画配信、創作活動にも積極的に取り組む。主な受賞に文化庁芸術祭優秀賞、花柳壽應賞新人賞、新春文部大臣奨励賞など。



藤間 蘭黄
ふじま らんこう

祖母・藤間藤子、母・藤間蘭景に師事。「蘭黄の会」を主宰するほか、協会、国立劇場主催公演などに多数出演。東京新聞全国舞踊コンクール、ソウル国際舞踊コンクールの審査員も務める。主な受賞に日本芸術院賞、芸術選奨文部科学大臣賞、令和2年秋の紫綬褒章受章。平成28年度文化庁文化交流使に指名され、十カ国十四都市で活動を行う。



水木 佑歌
みずき ゆか

水木流東京水木会理事長。昭和59年よりリサイタル「水木佑歌の会」を開催。協会主催の創作、新作公演、商業演劇、CM、海外公演（二十二ヶ国三十都市）の出演や振付、所作指導等多方面で活躍。協会理事。主な受賞に新春文部大臣賞奨励賞、舞踊批評家協会賞第67回舞踊芸術賞など。



西川 扇与一
にしかわ せんよいち

二世西川扇舞、十世宗家西川扇藏に師事。協会公演、新作公演、国立劇場主催、NHK主催公演などに多数出演や振付で参加。プロデュースや演出、脚本執筆なども行い、多彩な活動を展開する。東京支部城西ブロック長。新春奨励賞受賞。



花柳 昌太郎
はなやぎ しょうたろう

父・二代目花柳昌太郎に師事。平成31年三代目を襲名し、初代から引き継ぐ「銀玲会」を主宰。協会、国立劇場主催公演等に出演や振付で多数参加。沖縄県立芸術大学や日本大学芸術学部の非常勤講師も務める。東京支部城西ブロック副ブロック長。主な受賞に新春文部大臣奨励賞、舞踊批評家協会新人賞、文化庁芸術祭新人賞など。



藤蔭 静枝
ふじかわ しずえ

藤間紋寿郎に師事。藤間紋瑠里として活動後、三世藤蔭静枝となる。協会、国立劇場主催公演に出演や振付で参加するほか、自身のリサイタルも主宰。大田区内の小学校でワークショップを行うなど普及活動にも取り組む。東京支部城南ブロック副ブロック長。主な受賞に文化庁芸術祭賞、国立劇場奨励賞、新春会長賞、東京新聞舞踊芸術賞など。

※文中の「協会公演」は「日本舞踊協会公演」を、「新春」は文化庁、当協会主催のコンクール公演「各流派合同新春舞踊大会」を略した表記です。

12日(日)
昼の部

一、大和楽「江戸風流」



花柳 登貴太郎
はなやぎ ときたろう

花柳泰輔に師事。協会主催公演、国立劇場主催公演や日本舞踊振興財団公演などに出演。テレビドラマで振付や所作指導も行う。ITI（国際演劇協会）ワークショップに講師として参加。都立総合芸術高等学校講師。新春奨励賞受賞。



若柳 三十郎
わかやぎ さんじゅうろう

二代目若柳吉三次に師事。現在、若柳彦三衛門に師事。協会主催公演、神奈川県支部主催舞祭・創作研究会公演、その他、国内外の公演に多数出演。また南足柄において「柳蛙会日本舞踊公演」や日本舞踊の普及のため「子供を対象とした「足柄塾」を主宰する。



泉 翔蓉
いずみ しょうよう

泉流初代家元泉徳右衛門に師事、現在三代目家元の補佐を務める。協会、国立劇場主催公演はじめ多くの舞台に出演。自身の会も主宰し、協会神奈川県支部支部長として後進の育成と普及事業にも励んでいる。新春文部大臣奨励賞、大会賞、東京新聞制定日本舞踊奨励賞を受賞。



花月 祐里
かげつ ゆり

花月流三代目家元。大学を卒業後、西川喜久輔師に師事。平成27年より西川喜晶師に師事。平成21年東京新聞主催第66回全国舞踊コンクール第三位入賞。



坂東 以津緒
ばんどう いっお

母・坂東三津以のもと坂東流名取師範となる。現在、坂東勝友に師事。協会主催公演、文化庁主催巡回公演など多数出演。現在横浜を拠点に活動。新春文部科学大臣奨励賞、大会賞を受賞。



坂東 智和
ばんどう ともかず

坂東三津輔に師事。坂東流師範。協会神奈川県支部主催公演、協会主催新春舞踊大会に出演。

二、清元「子守」



中村 梅
なかむら うめ

七代目中村芝翫の孫。二代目中村梅彌の長女。母・梅彌に師事。十八代目中村勘三郎の「鏡獅子」で胡蝶を勤め、歌舞伎公演にも出演。梅彌が家元を務める中村流の若手舞踊家としてワークショップなどを積極的に運営。

「鳥羽絵」



西川 扇衛仁
にしかわ せんもりひと

二代目西川扇舞、西川扇与土に師事。協会主催公演、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演等に出演。「弧の会」同人として各地で公演活動を行う。新春文部科学大臣賞受賞。「弧の会」として文化庁芸術祭優秀賞受賞。



岡田 美桜
おかだ みお

父・西川大樹、母・西川あき恵に師事。弧の会主催公演等に出演。東京新聞全国舞踊コンクール邦舞第二部2位、3位受賞。東京支部城西ブロック主催城西ジュニア日本舞踊コンクール中学生の部にて日本舞踊奨励賞を受賞。

三、長唄「鳥獣戯画」



花柳 和あやき
はなやぎ かず

5歳より花柳和に師事。昭和62年、和彩紀の名を許され、平成18年改名。二代目花柳壽應に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演、国際交流基金日本文化紹介派遣事業などに出演。新春大会賞受賞。



花柳 吉史加
はなやぎ きちふみか

花柳昌吉郎、花柳寿彰に師事。協会主催公演、文化庁学校巡回公演等に出演。東京都江戸東京博物館主催日本舞踊公演「花のワルツ」の振付を手掛けた。「藝〇座」所属。新春会長賞、大会賞などを受賞。

出演者プロフィール

※文中の「協会公演」は「日本舞踊協会公演」を、「新春」は文化庁・当協会主催のコンクール公演「各流派合同新春舞踊大会」を略した表記です。



はなやぎ さとみ
花柳 笹 公

花柳寿南海に師事。日本大学芸術学部を学部長賞にて卒業。協会、国立劇場主催公演などに出演や創作振付にて参加。また日本舞踊振興財団主催海外公演にも参加。文化庁新進芸術家国内研修制度にて京舞井上流五世家元井上八千代師の許、京舞を学ぶ。新春会長賞、大会賞受賞。



はなやぎ すけみずか
花柳 輔 瑞佳

花柳輔太郎に師事。東京藝術大学日本舞踊専攻卒業。協会主催公演のほか様々な公演に出演のほか、舞踊指導・所作指導・振付で主に活動。「藝〇座」所属。洗足学園音楽大学非常勤講師。松尾塾伝統芸能講師。新春会長賞、大会賞受賞。



はなやぎ としか
花柳 寿 華

三世花柳壽輔、二代目花柳壽應に師事。母は花柳維寿美。協会主催公演、国立劇場主催公演などに出演。都立総合芸術高校で講師を務める。新春奨励賞受賞。



はなやぎ くさ
花柳 まり 草

花柳眞理子に師事。宝塚歌劇団出身。宝塚音楽学校卒業時に「校長賞」。協会主催公演・歌舞伎公演への出演やラジオ出演等、ポードレスに活動する。出演作に、中村獅童主演『超歌舞伎』、尾上右近主演『八雲立つ』（木花咲耶姫役）、『3D能エクストリーム』（葵上役）等。



はなやぎ らくあや
花柳 楽 彩

二世花柳壽楽、三代目花柳寿楽に師事。大東文化大学非常勤講師として大学生や留学生を指導するほか、学習院女子中・高等科日舞部、よみうりカルチャーにて講師を務める。新春最優秀賞、新春奨励賞を受賞。



はなやぎ てろし
坂 東 映 司

母・坂東三津映に師事。坂東流青年部所属。協会主催公演に出演するほか、アートデリバリー活動などに取り組み。私立中学・高等学校講師。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春奨励賞受賞。



はなやぎ しずひさ
藤 蔭 静 寿

藤蔭静枝に師事。東京藝術大学日本舞踊専攻卒業。協会主催公演、文化庁学校巡回公演、日本舞踊振興財団公演など国内外の様々な公演に出演。「藝〇座」所属。新春会長賞、大会賞、千葉市芸術文化新人賞などを受賞。



はなやぎ しよおる
藤 間 翔 央

幼少より母・藤間恵都子に師事。現在は藤間藤太郎に師事。協会神奈川県支部公演、藤間流大会などに出演。地元・横浜市内の小中学生を対象とした協会神奈川県支部主催のワークショップ等に積極的に参加。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。横浜雙葉学園日本舞踊の会講師。新春会長賞、大会賞、奨励賞受賞。



はなやぎ としか
藤 間 藤 柁

藤間藤太郎に師事。協会主催公演、協会主催新作公演や国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演など様々な舞台に出演。新春会長賞、大会賞受賞。



はなやぎ かおるこ
若 柳 薫 子

正派若柳流、母若柳美乃に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。東京藝術大学卒業後、「藝〇座」に所属し、国内外にて公演を行う。「伝統文化理解教育」講師。新春会長賞、大会賞、奨励賞受賞。



はなやぎ すいせん
市 川 翠 扇

父は十二代目市川團十郎、兄は十三代目市川團十郎白猿。父および六世藤間勘十郎に手ほどきを受け、藤間藤太郎に師事。平成18年、三代目市川ぼたんを襲名。舞台に多数出演するほか、大学で講師を務めるなど、教育活動にも注力。令和元年8月に四代目市川翠扇を襲名。芸術選奨文部科学大臣新人賞、舞踊批評家協会新人賞などを受賞。



はなやぎ じゆすけ
花柳 壽 輔

初代花柳壽輔の来孫で、平成28年に四世宗家家元である祖父（現・花柳壽應）から五世宗家家元花柳壽輔を襲名。二歳から三世家元の元で稽古を始め、平成19年に花柳芳次郎の名を継ぎ歌舞伎座で襲名披露公演をおこなう。現在では企画構成演出振付を担当する公演も行い、国際的に日本の文化を発信している。

出演者プロフィール

五、長唄 「鶉の殿様」



おのえ
尾上 菊之丞
きくのじょう

尾上流四代家元。流儀の会やリサイタル、茂山逸平氏との「逸青会」を主宰。新橋「東をどり」・先斗町「鴨川をどり」、新作歌舞伎の振付を多く手掛ける。藤間勘十郎氏とオンラインサロンを主催。協会制作の映像作品「地水火風空そして、踊」では作・演出を担当。協会理事。新春会長賞、花柳壽應賞新人賞、舞踊批評家協会賞などを受賞。



はなやぎ
花柳 輔太郎
すけたろう

父・花柳誠三郎に師事。協会、国立劇場、文化庁、NHK主催公演など国内外の舞台上に多数出演。「華雅の会」、「誠雅会」を主宰。振付師としても協会主催公演や商業演劇、花柳界等で活躍。東京藝術大学日本舞踊専攻准教授。洗足学園音楽大学客員教授。協会理事。主な受賞に文化庁芸術祭賞、花柳壽應賞新人賞、東京新聞舞踊芸術賞など。



にしかわ
西川 申晶
しんしょう

正派西川流・西川喜晶に師事。協会主催公演や文化庁学校巡回公演などに出演。東京新聞主催全国舞踊コンクール文部科学大臣賞、新春会長賞、大会賞などを受賞。



いわい
岩井 梅我
ばいが

岩井紫若・花柳寿美に師事。協会主催公演をはじめ、協会東京支部中央ブロック公演、東明舞踊の会などに多数出演。タレントや劇団、太鼓集団の所作指導・振付なども行う。かきつ会主宰。



ふじかけ
藤 蔭 里 燕
りえん

藤蔭流三世家元藤蔭静枝に師事。協会公演、協会主催新作公演「走れメロス」「創国紀」「櫻草紙」、東京文化会館主催「日本舞踊×オーケストラ」公演、NPO法人集団舞踊21、舞踊作家協会公演などに出演。

※文中の「協会公演」は「日本舞踊協会公演」を、「新春」は文化庁、当協会主催のコンクール公演「各流派合同新春舞踊大会」を略した表記です。

12日(日)
夜の部

一、清元
「青海波」



にしかわ まいほう
西川 舞鳳

幼少より母・西川喜重郎に手ほどきを受け、後に正派西川流代表西川喜鳳に師事。義母となる西川喜鳳のもと、地元船橋にて日本舞踊の普及、発展に努める。義姉西川千香鳳と共に「千舞会」主宰。千葉県主催日本舞踊公演などに多数出演。千葉県支部役員。



はなやぎ きょうくみ
花柳 杏久美

幼少より花柳杏葉に師事。協会千葉県支部主催公演に出演する他、千葉県支部成田国際空港公演、国民文化祭、千葉県文化フォーラム多数などに出演。令和元年より千葉県支部副支部長を務める。



ばんどう きょうひろめ
坂東 京弘女

坂東流師範名取。坂東会理事。十代目坂東三津五郎(当時八十助)主催の八十助塾で踊りを学ぶ。同じく十代目坂東三津五郎主宰坂東流青年部卒業。現在はむげんの会に所属。小学校における舞踊教育の講師や地域での普及活動に努める。京弘女の会を主宰。



ばんどう ひふみ
坂東 一二三

祖母・坂東三代親、母・坂東三津伎に師事。一門の勉強会「朗誦会」並びに習志野市日舞連盟会長として「翔舞会」を主宰。長年に渡る舞踊教育を認められ、平成28年度習志野市教育功労者として表彰を受ける。十代目坂東三津五郎の時分より坂東会役員として従事。



ふじま かんすが
藤間 勘寿娥

藤間松寿郎、豊之助に師事。「藤娥会」主宰。「舞葉会」同人。協会千葉県支部公演、日本舞踊×能楽のレクチャー公演など多数出演。若手育成に注力し、次世代につながる公演を催すほか、小学校日本舞踊体験教室など普及に努め、市より功労賞を2度受賞。千葉県邦楽邦舞文化協会副会長。



ふじま ろくひで
藤間 緑英

幼少より母・藤間裕康に手ほどきを受け、後に藤間志緑に師事。その後、藤間多寿に師事。「英会」主宰。協会千葉県支部公演や東京、大阪などの舞台公演に出演。千葉県支部役員。



まつもと ゆきまり
松本 幸万里

幼少より松本幸女に師事。協会千葉県支部公演に出演する他、国民文化祭などに出演。英語力を生かし、千葉県支部成田国際空港全公演の司会を務める。船橋市日本舞踊連名役員。寿まの会主宰。協会千葉県支部役員。



わかやぎ ゆきすけ
若柳 順助

若柳壽延に師事。協会千葉県支部主催公演に出演する他、若柳流主催公演等、様々な舞台に出演。門下師範・名取を輩出し、数年に一度、自身が主催する「順乃会」舞踊公演を開催する。令和元年より千葉県支部副支部長を務める。



いずみ ひであやか
泉 秀彩霞

幼少より泉秀弘に師事。現在、泉流宗家泉徳右衛門、泉幸霞に師事。日本大学大学院芸術学研究科修士課程修了。協会主催公演や文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春会長賞、大会賞などを受賞。



はなやぎ しずこほみ
花柳 寿紗保美

東京藝術大学日本舞踊専攻卒業。協会主催公演、国立劇場主催公演、松竹主催歌舞伎公演などに出演。子供伝統芸能教室や「伝統文化理解教育」の講師を務める。主な受賞に全国舞踊コンクール文部科学大臣賞、東京都知事賞、新春舞踊大会会長賞、大会賞、奨励賞などを受賞。



わかやぎ きょうこ
若柳 杏子

幼少より日本舞踊を始め、平成22年より若柳公子に師事。日本大学芸術学部卒業。卒業制作作品に於いて学部長賞、川野希典賞を受賞。協会主催公演や国立劇場主催公演などに出演。新春最優秀賞、大会賞、東京新聞全国舞踊コンクール文部科学大臣賞を受賞。

「越後獅子」



泉 秀樹
いずみ ひでき

泉流三代目家元。二代目泉徳右衛門に師事。平成26年に三代目家元継承、協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに多数出演。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。桜美林大学非常勤講師。新春最優秀賞、奨励賞を受賞。



藤間 仁鳳
ふじま じんおう

藤間章江、藤間仁章に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。子供向け体験事業で講師を務めるほか、「弧の会」同人としても各地で公演活動やワークショップを行う。新春会長賞、「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。



藤間 涼太郎
ふじま りょうたろう

藤間紋寿郎に師事。平成18年四代目尾上松緑門弟となり歌舞伎俳優として活動。後に舞踊家に転身。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春最優秀賞、全国舞踊コンクール文部科学大臣賞、東京新聞日本舞踊新鋭賞などを受賞。

三、長唄 「孫悟空」



林 千永
はやし ちえ

林流千永派家元。協会、国立劇場主催公演などに出演するほか、リサイタルやライブ公演なども主宰。演劇、オペラの振付も手掛ける。国際交流基金などの海外公演にも参加。東京支部城北ブロック副ブロック長。昭和58年度芸術選奨文部大臣新人賞、昭和62年度、63年度文化庁芸術祭賞、新春会長賞、大会賞など受賞。



藤間 章吾
ふじま しょうご

母・藤間章豊、後に藤間秀嘉に師事。協会、国立劇場主催公演等様々な公演に出演。海外での公演にも積極的に出演している。劇団俳優座演劇研究所講師。「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞受賞、舞踊批評家協会新人賞。



泉 徳保
いずみ とくほ

泉流初代宗家・二代宗家泉徳右衛門に師事。「松濤會」「徳保の会」を主宰。協会主催新春受賞者による特別公演や国立劇場主催公演などに出演。新春会長賞、大会受賞。「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞、舞踊批評家協会新人賞を受賞。



松島 金昇
まつしま きんしょう

8歳より父の手ほどきを受け舞踊修行を始める。その後、藤間藤子に師事、また多数の歌舞伎役者との共演を通じて指導を受ける。二十二歳で、六代目家元を襲名。坂東玉三郎舞踊特別公演や協会主催公演等にも多数出演。東京支部城北ブロック副ブロック長。



旭 七彦
あさひら なつひこ

8歳より若柳、尾上、葵流を経て、学生時代より葵七彦として活躍。昭和54年旭流創流。協会主催公演他「獅子の会」「集団日本舞踊21」「創作舞踊展」「人情おどり座」「金曜赤坂座」等に参加。文化庁、東京都派遣等海外公演にも多数参加。振付家としても活躍。慶應義塾大学卒業。平成6年度文化庁芸術祭賞受賞。



藤間 仁章
ふじま じんしょう

母・藤間章江・藤間章作に師事。協会主催公演、藤間流公演に出演するほか、藤間仁章リサイタルなど主宰、振付も行う。伝統芸能の普及を目的としてNPO法人むさしの我夢之会を設立。主な海外公演はアメリカ・ドイツ・韓国等。主な受賞に新春大会賞、文化庁芸術祭優秀賞など。



花柳 寿美柚里
はなやぎ すみゆり

幼少より三代目花柳寿美に師事。協会主催新春舞踊大会や未来座公演等出演。地元千葉船橋市に於いて「はじめての舞踊教室」の講師を務め、普及活動にも取り組む。



花柳 基紫瑞
はなやぎ もとしずい

8歳より花柳紫瑞に師事。上京を期に18歳より花柳基に師事。日本大学芸術学部演劇学科日舞コース卒業。協会主催公演や東京支部城東ブロック公演などに出演。新春大会賞、奨励賞受賞。



藤間 聖衣暁
ふじま せいあ

祖母・藤間聖章に師事。協会主催公演や東京支部城東ブロック公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」「伝統文化理解教育」の講師を務める。中野区日本舞踊連盟・中野ZERO共催子供向け教室講師。新春奨励賞受賞。



まつしま しより
松島 昇子

幼少より父・六代目松島金昇に師事。協会主催未来座公演等に出演。東京都立忍岡高等学校校特別専門講師として学生に指導するほか、北区子ども文化教室講師として区の日本舞踊の普及に携わる。

四、地歌「由縁の月」 月二題



やまむら ともゆき
山村 友五郎

山村流六世宗家。大阪発祥山村舞の維持継承に努め、文献や錦絵から流祖所縁の演目を復元する等振付も多く手がける。協会理事。三代目・友五郎襲名披露会の成果として日本芸術院賞を受賞。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣賞及び新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、花柳壽應賞新人賞など。令和2年春の紫綬褒章受章。

「残月」



いのうえ やちよこ
井上 八千代

京舞井上流五世家元。祖母・四世家元に師事。平成12年に五世家元として井上八千代を襲名。祇園甲部の「都をどり」の振付指導にもあたる。ジャポニスム2018日本舞踊フランス公演に出演。芸術文化勲章シュヴァリエを受章。協会常任理事。日本芸術院賞受賞、紫綬褒章受章など多数受賞。日本芸術院会員、重要無形文化財保持者（人間国宝）認定。

五、常磐津「乗合船恵方萬歳」



にしかわ みのすけ
西川 箕乃助

父・十世宗家西川扇藏に師事。「西川箕乃助の会」主宰。「五耀會」同人。西川流に伝わる古典舞踊、十世扇藏振付作品の伝承に努める一方、自身の創作作品も多数発表。また外国人への日本舞踊の啓蒙活動等を国内外で開催。協会東京支部長、協会常任理事。日本芸術院賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、令和四年春の紫綬褒章、花柳壽應賞新人賞などを受賞。



ふじま かねえもん
藤間 勘右衛門

初代尾上辰之助（三世尾上松緑追贈）の長男。平成元年藤間流家元。六世藤間勘右衛門を襲名。歌舞伎俳優。四代目尾上松緑、流儀の会を主宰するほか、協会、国立劇場主催公演などに多数出演。協会常任理事。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣新人賞、国立劇場特別賞、眞山青果賞新人賞、花柳壽應賞新人賞など。



なかむら うめゆ
中村 梅 彌

中村流八世家元。七世中村芝翫、二世藤間勘祖に師事。歌舞伎の振付やテレビ・映画などの所作指導を担当。協会、国立劇場主催公演に出演するほか、「中村梅彌の會」を主宰。東京博多などでワークショップ「梅の手習ひ」を開催。協会理事。主な受賞に日本芸術院賞、文化庁芸術祭優秀賞、舞踊批評家協会新人賞。



わかやぎ きちろう
若柳 吉 蔵

若柳流五世宗家家元。二代若柳寿童の三男。昭和62年、古蔵を襲名し、平成9年に五世宗家家元となる。古典や創作舞踊を手掛けるほか、近年は他流の若手との共演にも挑戦。京都・宮川町、「京おどり」の振付、指導も担当する。協会関西支部京都滋賀ブロック長、文化庁芸術祭優秀賞、京都府文化賞功労賞、花柳壽應賞新人賞などを受賞。



おうえ しずか
尾上 紫

尾上流三代目家元尾上菊之丞（現・墨雪）の長女。六世藤間勘十郎にも師事。協会、国立劇場主催公演に多数出演するほか、自身のリサイタルを主宰し、万博などの海外公演にも参加。女優としても舞台、映画、テレビ等に出演。主な受賞に花柳壽應賞新人賞、新春会長賞、舞踊批評家協会新人賞など。



はなやぎ そのすけ
花柳 園喜輔

日本大学芸術学部卒業。協会主催公演等に出演するほか、国際交流基金や東京都文化振興会等の派遣にて海外公演に参加。リサイタル「園喜輔の会」や「拓の会」、「日本の音楽と舞踊の魅力を探る会」等を開催。東京支部城北ブロック長。文化庁芸術祭賞、同優秀賞、新春大会賞、舞踊批評家協会賞などを受賞。



ふじま みさき
藤間 紫

幼少より祖母・初世藤間紫に師事。7歳で祖母と共に歌舞伎座にて初舞台。日本舞踊協会主催公演や新作公演など多数出演。2021年紫派藤間流家元・三代目藤間紫を襲名。2022年1月国立大劇場において襲名披露公演を開催。また女優としては本名・藤間爽子で舞台やドラマ等で活動している。



あづま かんは
吾妻 寛穂

初代、二代目吾妻徳穂に師事。協会、国立劇場主催公演等に出演するほか、リサイタル「寛穂の会」、奏舞同人「くるまぎ」を主宰。モンゴル国との文化交流によりモンゴル国政府より優秀文化功労者賞、北極星勲章叙勲。主な受賞に外務大臣表彰、新春特別賞、二度の文化庁芸術祭優秀賞など。